

「金融機関トップ対談」シリーズ

TKC近畿京滋会

京都中央信用金庫・植村幸弘理事長との対談

とき…令和8年3月16日(月)

ところ…京都中央信用金庫本店会議室

MIISによる月次試算表提供が有り難い

佐藤(会長) 植村理事長とは支店長時代からのお付き合いです。理事長に就任され、改めてご挨拶の機会をいただき光栄です。地元でお世話になっている下津林支店の廣瀬支店長に仲介いただき、本日の対談が実現しました。

植村(理事長) TKC会員の先生方には、TKCモニタリング情報サービス(以下、MIIS)の提供をはじめ、日頃から支店を含め大変お世話になっております。**佐藤(会長)** 本日より「モニタリング

強化型信用保証制度」が施行されました。京都中央信用金庫様のお考えや今後の取り組みなどを情報交換できればと思います。また、TKC会員が注力している月次巡回監査が、中小企業支援における連携に活かされることを願っています。我々は月次巡回監査の実践件数増加にこれまで以上に真剣に取り組んでおります。

植村(理事長) TKC会員先生から提供される決算書は大変見やすく、また、信頼できるものとして、支店長時代から認識しています。決算書だけではなく月次で試算表が提供されるのは、我々にとって有り難いことです。例えば、経営支援を行う際に、支援先様より試算表を毎月提出していただくことが難しいケース

もありますが、TKC会員の先生との関与先であればMIIS「月次試算表提供サービス」で提供いただくことも可能です。当サービスを大変有り難く活用させていただいております。

書面添付の有無を融資判断に反映

植村(理事長) 現状、融資案件については、ほぼ本部決裁のため、MIISデータが蓄積されると貴重な財産になります。本部ではデータで判断することになることで、正確かつ充実したデータがあること

で、融資決裁の早期化に繋がります。

佐藤(会長) 前回(2023年6月)の実務者協議の成果として、MIIS活用により申込書1枚で保証割引ができるフローが利用できていたのは、関与先にもTKC会員にも有益なことです。

植村(理事長) 保証割引だけではなく、MIISは融資先の予兆管理やDX推進にも活用できるサービスであると考えています。紙ではなくデータで提供される点が、数値に手を加えられないという信用性に繋がっています。また、庫内の「チェックリスト」に有無を記載して運用している書面添付については、その存在と内容が支店に至るまで浸透しています。書面添付は、経営者が信頼できる証として捉えており、融資時の判断基準の一つになっています。TKC会員先生方による月次巡回監査や書面添付により、融資

出席者 (敬称略)

■ 京都中央信用金庫

理事長	植村	幸弘
常務理事	上田	亮
理事	平岡	聡
常務執行役員	関本	陽一
地域創生部部长	長谷川	雄一

■ TKC近畿京滋会

会長	佐藤	正行
副会長	角谷	雅子
副会長	久乘	哲
中小企業支援委員長	西村	純史



植村幸弘理事長(前列中央)を囲んで。左隣が、佐藤正行TKC近畿京滋会会長

先は良い緊張感を持って経営しているのではないかと思われず。

上田(常務理事) MIS同様にWeb BASTについても、有効活用させていただいています。業界平均値を参照し、融資先の立ち位置が分かる貴重なデータであり、その内容とデータ量から、他に類を見ない情報だと感じています。

角谷(副会長) MIS「月次試算表提供サービス」の資料に「月次決算報告シ

ート」があります。業績の推移や動向が記載されているため、モニタリングにも活用いただけます。

上田(常務理事) 「月次決算報告シート」も拝見しております。MISで月次試算表を提供いただいている融資先の参考にしており、月次試算表や月次決算報告シートの提供が増えることを期待しております。

「予兆管理」に月次巡回監査、MISが有効

西村(委員長) 金融機関とTKC会員との連携を推進するTKC近畿京滋会中小企業支援委員会の委員長を担当しております。「モニタリング強化型信用保証制度」施行により、京都中央信用金庫様とTKC会員が協力し、中小企業の金融支援における更なる連携強化を図りたいと思います。特に、予兆管理においては、月次巡回監査、月次決算が連携において有効かと考えております。

植村(理事長) 月次決算があつてこそ、実績把握から予想(資金繰り提案)ができます。このような点から、TKC会員の先生の月次巡回監査は信頼を寄せています。特に、財務内容(経営状況の把握)が弱い融資先は格付けの低位より下に位置し、税理士の支援が必要だと感じてい

ます。予兆管理にMISが活用できるというのも理解できます。例えば短期や長期借入金 の推移など、正確な実績をタイムリーに把握できる点は参考になります。

久乗(副会長) MISを中小企業金融支援に有効活用いただくため、信用保証協会からTKC会員宛に「MIS利用促進依頼文」をいただきました。京都中央信用金庫様におかれましても、ご検討いただきたく思います。また、支店等の単位での「職員向け勉強会」の開催により、職員の方々にも相互理解の機会をいただきたいと考えています。

植村(理事長) 勉強会は連携強化に繋げる内容での開催が必要ですね。コロナ禍後も人件費アップ等の課題を抱え、業況が厳しい中小企業が多いため、中小企業に最も近い存在である税理士と連携して支援していきたいと考えています。特に融資先の月次決算を指導しているTKC会員先生との連携強化に期待しています。

佐藤(会長) 京都中央信用金庫様との連携により、TKC近畿京滋会の会員も中小企業支援を更に強化したいと考えています。引き続き、関与先を含めた三者の「顔の見える関係」構築と連携体制に向け、ご協力をお願いいたします。

(京都SCGサービスセンター長 植田真弓)